

新学部設置

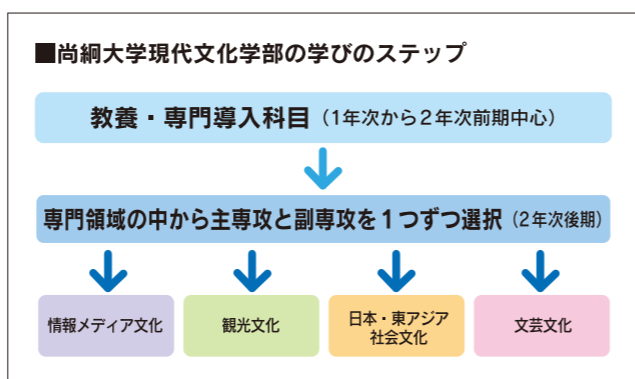
文化に関する専門知識を育む 現代文化学部を新設

大学では、時代の変化に呼応した学部改編や新学部設置などの動きが出ている。尚綱大学（熊本市中心区）は、菊陽町の武蔵ヶ丘キャンパスに現代文化学部文化コミュニケーション学科を新設する。開設は来年4月、定員は75人。高度情報化とグローバル化が進む日本社会に貢献できる人材育成を目指す。

特徴は、1年次の教養教育科目や専門導入科目を経て、2年次後期に「情報メディア文化」「観光文化」「日本・東アジア社会文化」「文芸文化」の中から主専攻と副専攻を1つずつ選択する点。例えば「観光文化」に加え、「日本・東アジア社会文化」を選択して履修する「国際観光モデル」では、インバウンド系観光ビジネスや、貿易、地方自治体などへの進路が想定される。「異なる2つの領域を学ぶことにより相乗効果が高まり、広範な専門的知識が深まるとともに、社会で求められる汎用的な能力であるジェネリックスキルを育成することができる」と同大文化言語学部長の林田俊一郎教授は話す。

同大が行ったアンケートによる

と、有効回答118の企業・団体の内、約85%（100企業・団体）が同学科の学生を「採用したい」と回答。また同学科の必要性についても約97%（114企業・団体）が「必要だと思う」と答えたとしている。こうした仕事に直結する学びの場が、社会から求められることがうかがえる。



出典：熊本日日新聞社発行「変わる」平成29年9月30日（別刷り）